

第三次船橋市子供の読書活動推進計画報告書
(令和4年度)

令和5年11月

船橋市教育委員会
生涯学習部西図書館

目次

1	第三次船橋市子供の読書活動推進計画の概要	
(1)	計画の趣旨	1
(2)	計画の基本方針と方策	1
(3)	計画の体系図	1
(4)	目標とする数値（第三次計画全体で令和7年度の達成を目標とする数値）	1
(5)	計画の期間	2
(6)	計画の対象	2
2	第三次船橋市子供の読書活動推進計画の評価について	2
3	集計結果	3
4	中間年度（令和4年度）までの総評	4
5	事業評価一覧表	6
6	船橋市子供の読書に関するアンケート調査	15

1 第三次船橋市子供の読書活動推進計画の概要

(1) 計画の趣旨

本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行を受け、平成21年4月に「船橋市子どもの読書活動推進計画」を、平成26年4月には「第二次船橋市子供の読書活動推進計画（以下、第二次計画）」を策定し、図書館や学校等において子供が自主的に読書に親しむための機会の提供・充実を図ってきました。

令和元年度からは、第二次計画の成果と課題を踏まえた「第三次船橋市子供の読書活動推進計画（以下、第三次計画）」に基づき、「子供が読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことのできる環境づくり」を目的とし、子供が読書習慣を身に付けることができるよう、家庭・地域・学校等が一層力を合わせて読書活動の推進に取り組んでいきます。

(2) 計画の基本方針と方策

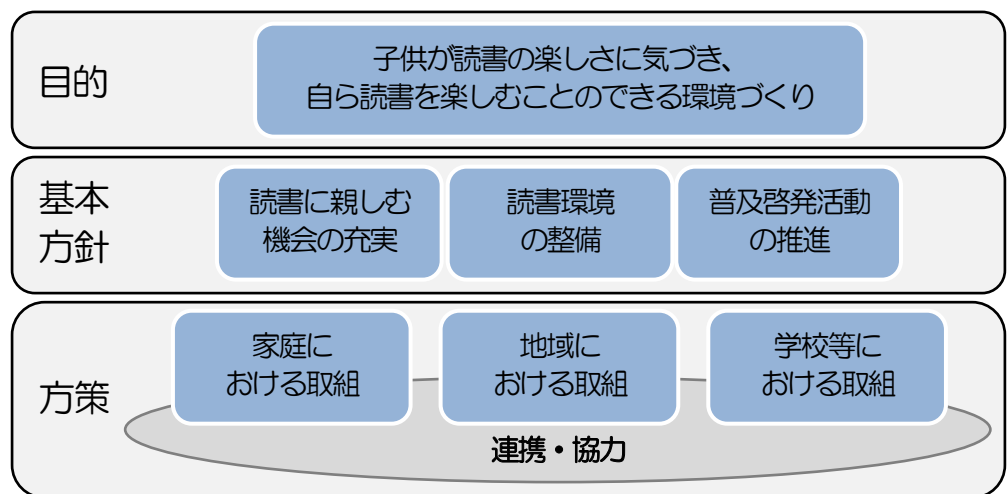
第三次計画の目的を達成するため、次の3つを基本方針とします。

＜基本方針＞	①読書に親しむ機会の充実 ②読書環境の整備 ③普及啓発活動の推進
--------	--

また、3つの基本方針を推進するため、方策として次の取組を進めます。

＜方策＞	①家庭における取組 ②地域における取組 ③学校等における取組 【連携・協力】
------	---

(3) 計画の体系図



(4) 目標とする数値（第三次計画全体で令和7年度の達成を目標とする数値）

読書が好きな子供の割合	…	小学生	100%	中学生	100%
1か月に読んだ本が0冊の子供の割合	…	小学生	0%	中学生	0%

(5) 計画の期間

第三次計画の期間は、令和元年度から令和7年度までの7年間です。

ただし、3～4年を目途に計画の達成状況、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて内容の見直しを図ります。

(6) 計画の対象

計画の対象は、おおむね18歳以下の子供とその保護者等（保護者や家族、教職員、ボランティア、行政機関等）です。

2 第三次船橋市子供の読書活動推進計画の評価について

第三次計画では、37の事業に取り組むこととしています。本報告書は、令和4年度における各事業の取組実績や課題認識、今後の取組、また令和4年度に実施した「船橋市子供の読書に関するアンケート調査（以下、アンケート調査）」の集計結果を踏まえた見直し後の目標値をまとめたものです。

進捗状況は、船橋市図書館協議会において報告を行います。

本報告書の見方

①「基本方針」「方策」「事業No.」「事業名」「事業概要」「施設」「連携先」

→基本方針・方策ごとに、第三次計画で実施するとしている事業の通し番号・名称・概要、取組を行う施設・連携先を記載しています。

②「指標」「計画策定時の現状値（平成29年度）」「直近の実績」「中間目標値（令和4年度）」「当初目標値（令和7年度）」

→各事業の評価指標・実績の経年変化・計画の中間年度及び最終年度の目標値を記載しています。また、最終年度の当初目標値に対する進捗率を併記しています。

③「評価」「当年度取組」

→目標値（令和7年度）に対する進捗率を以下の評価基準に照らし、評価を付しています。なお、令和4年度時点では目標値が定まらない事業No.12及び25については、後述する「当年度取組」欄に評価の考え方を記しています。

評価	目標値に対する進捗率
達成できた	100%以上
概ね達成できた	80%以上100%未満
あまり達成できていない	60%以上80%未満
達成できていない	60%未満

→「当年度取組」は、令和4年度における各事業の取組を記載しています。また、中間目標値に対する達成度の評価もこちらに記載しています。

④「見直し後目標値（令和7年度）」「現状の課題・今後の取組」

→「見直し後目標値（令和7年度）」は、見直した内容に合わせた目標値を記載しています。見直し修正を行わない場合は当初目標値をそのまま記載しています。

「現状の課題・今後の取組」は、各事業の課題認識と今後の取組を記載しています。また、目標値（令和7年度）を修正する場合の見直し理由と新型コロナウイルス感染症に伴う影響についてもこちらに記載しています

3 集計結果

令和4年度の現状に対する評価

基本方針		方策	評価			
			達成 できた	概ね達成 できた	あまり 達成でき ていない	達成でき ていない
1	読書に親しむ 機会の充実	1 家庭における取組		1	1	
		2 地域における取組	3	1	2	3
		3 学校等における取組	2	2	1	
2	読書環境の整 備	2 地域における取組	3			
		3 学校等における取組	3	3	1	2
3	普及啓発活動 の推進	1 家庭における取組	1	1		2
		2 地域における取組	2		1	
		3 学校等における取組	1	1		
		合計	15	9	6	7
		割合	40.5%	24.3%	16.2%	18.9%

4 中間年度（令和4年度）までの総評

（1）目標値に対するアンケート調査結果の推移

第三次船橋子供の読書活動推進計画では、目標とする数値を設定しています。目標値とアンケート調査（平成29年度、令和4年度実施）の結果は次のとおりです。

項目	対象者※	平成29年度	令和4年度 (今回調査)	目標値 (令和7年度)
読書が好きな子供の割合	小学生	89.8%	87.6%	100%
	中学生	82.6%	77.0%	100%
	高校生	67.8%	67.1%	
1か月に読んだ本が 0冊の子供の割合	小学生	2.9%	4.3%	0%
	中学生	8.6%	17.1%	0%
	高校生	51.1%	47.9%	

（出典）平成29年度：船橋市子供の読書に関するアンケート調査（平成29年10月～11月実施）

※未就学児は保護者に対してアンケートを行っていることから、目標は設定していません。また、高校生については、高等学校は県立・私立ともに本市に指導権限がないことから、目標は設定していません。

小学生・中学生ともに、「読書が好きな子供」の割合は前回調査より下がり、「1か月に読んだ本の本数が0冊の子供」の割合は高くなっています。中学生の変動が特に大きいことから、児童生徒全体の読書離れが進んでおり、学級段階が進むにつれより顕著になっていることがわかります。

しかし、全国学校図書館協議会¹が令和4年度に実施した「第67回学校読書調査²」の不読者（5月の1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒）の割合は、小学生6.4%、中学生18.6%、高校生51.1%となっており、船橋市は小学生4.3%、中学生17.1%、高校生47.9%と小学生・中学生・高校生ともに全国平均の方が不読者の割合が高くなっています。

1 全国学校図書館協議会：学校図書館の充実発展と青少年読書の振興を図る公益社団法人

2 第67回学校読書調査：全国学校図書館協議会が毎年実施している、全国の小学生（4～6年生）、中学生（1～3年生）、高校生（1～3年生）対象の読書活動に関する抽出調査。令和4年（2022年）6月実施。
<https://www.jsa.or.jp/material/research/dokusyotyousa.html>

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響

令和2年度から新型コロナウイルス感染症が流行し、一部事業の取組や実績に大きな影響を与えました。令和3年度以降は、各事業で目標値を達成できるよう取組を工夫していますが、「あまり達成できていない」「達成できていない」事業の中には、現在も新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものがあります。例えば、事業評価一覧表（P6）の事業No.2セカンドブック事業は、平成29年度の事業開始時から徐々に配付率を伸ばしてきていましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため来館が難しい対象者がいたこともあり、配付率が大きく減少しました。その後も配付率は増加と減少を繰り返しており、今後も長期にわたり影響が続くと見られます。

令和4年度の現状に対する評価の集計結果（P3）にあるように、「達成できた」「概ね達成できた」の割合は、昨年度と比べ5.4%増加し、「あまり達成できていない」「達成できていない」の割合は5.5%減少しました。「達成できていない」にいたっては8.2%減少し全体の20%以下となり、各事業の取組が少しずつ成果をあげてきていると考えられます。

(3) 目標値（令和7年度）の見直しと今後の取組

中間年度（令和4年度）までの達成状況や新型コロナウイルス感染症の影響、アンケート調査の結果を踏まえ、事業評価一覧表（P6）のとおり、各事業の目標値（令和7年度）の見直しを行いました。

今後は各事業で現状の課題を分析し、取組を工夫することで、見直し後の目標値を達成できるよう努めていきます。

5 事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組
								令和2年度	令和3年度	令和4年度						
								《目標値に対する進捗率》								
1	1	1	ブックスタート事業 (絵本の配布)	できるだけ早い時期に全ての子どもに「絵本」と出会う機会を作り、親子が触れ合い、語り合い、絆を深めることを目的に、保健センターで行われる4か月児健康相談の機会に絵本を配布する。	保健センター	図書館	絵本配布率	60.6% 《63.8%》	77.8% 《81.9%》	79.7% 《83.9%》	94.0% 《98.9%》	95.0%	概ね達成できた	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団事業を中止していたが、窓口での個別相談に追加して各保健センターで予約制の4か月児健康相談を行った。相談時にブックスタートの意義を伝え、絵本と共に資料の配布を行った。目標値には到達しなかったが、前年度より実績は増加した。	95.0%	4か月児健康相談が集団事業として再開するまでは個別にブックスタートの意義を伝えていく。親子が絵本を通して触れ合い、語り合い、親子の絆を深められ、生涯を通じて読書を楽しむことができるような声掛けを行い、図書館の利用も促していく。
		2	セカンドブック事業	より多くの本と出会う機会を提供するため、1歳6か月児健康診査を受診した子どもに、図書館で絵本を1冊手渡し、来館やおはなし会への参加を促す。	図書館	保健センター	絵本配布率	43.1% 《61.6%》	52.1% 《74.4%》	45.4% 《64.9%》	70.0% 《100.0%》	70.0%	あまり達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館が難しく絵本を受け取ることができなかった対象者には、3歳までの受取期限を4歳までに延長した。これにより、令和4年度は113人の対象者が絵本を受取ることができた。また、新たに船橋駅前歩道橋、船橋駅前総合窓口センター等のデジタルサイネージでセカンドブック事業の周知を行った。	70.0%	平成29年度の事業開始時から徐々に伸びてきていた配付率だが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に大きく減少し、その後、増加と減少を繰り返している。新型コロナウイルス感染症の流行以前の状態を目指して、対象者への周知を改めて行っていく。今後の取り組みとして、1歳6か月児健康診査時の保健師からの説明の再開依頼や、セカンドブック事業の周知場所の拡充を行う。
3	1	3	公立保育園での保護者への啓発	図書館主催講座のパンフレットやポスターを掲示し、保護者へ情報提供を行う。	公立保育園	図書館	掲示した園数	26園 《96.3%》	27園 (全園) 《100.0%》	27園 (全園) 《100.0%》	27園 (全園) 《100.0%》	27園 (全園)	達成できた	園にポスターを掲示し、保護者への周知を図った。	27園	引き続き取り組んでいく。
		4	児童ホームにおける講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子どもへの読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施する。	児童ホーム	図書館	講座の実施館数	1館 《4.8%》	4館 《19.0%》	8館 《38.1%》	10館 《47.6%》	21館 (全館)	達成できていない	児童ホーム8館で図書館など関係機関と連携して講座を実施した。中間目標値である10館での実施は達成できなかったが、昨年度と比べ実施館数は増加した。	21館	未実施の施設が半数以上あるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施するよう再度周知を図る。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組
								令和2年度	令和3年度	令和4年度						
								《目標値に対する進捗率》								
3	1	5	子育て支援センターにおける講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施する。	子育て支援センター	図書館	講座の実施施設数	0施設 《0.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設)	達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて講座を実施した。昨年度に引き続き目標値を達成できた。	2施設	今後も引き続き事業を実施していく。
		6	公民館における講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して読み聞かせのポイントや本の選び方など、本を身近に親しみ、読書の楽しさを伝える講座を実施する。	公民館	図書館	講座の実施館数	0館 《0.0%》	4館 《15.4%》	2館 《7.7%》	15館 《57.7%》	26館 (全館)	達成できていない	わらべうたや絵本の選び方などを学ぶ講座を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった講座もあり、実施館数が伸び悩んだ。	26館	地域の子供が読書に親しむ機会をつくるため、まずは大人が読書活動に関心をもつきっかけになるよう、読み聞かせボランティア研修会を企画した館があったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。引き続き、より多くの館で実施できるよう、地域のニーズを汲み取りながら講座を企画していく。
1	2	7	保護者や読み聞かせグループ等への啓発	読み聞かせ初心者の方向けに、図書館主催で読み聞かせの方法等についての講座を開催する。	図書館	—	講座の実施回数	1回 《12.5%》	7回 《87.5%》	7回 《87.5%》	4回 《50.0%》	8回	概ね達成できた	各図書館で読み聞かせ初心者の方や保護者向けに、入門講座や紙芝居講座を開催することができた。また今年度は感染対策に配慮しながら、全ての講座を対面で開催することができ、中間目標値も達成することができた。	8回	今後も継続的に講座を開催し、目標である回数を実施できるよう工夫していく。
		8	保護者や読み聞かせグループ等への啓発（講師派遣）	読書の重要性や読み聞かせの方法を伝えるため、まちづくり出前講座や各施設の講座に講師派遣を行う。	図書館	公民館等	講師派遣回数	0回 《0.0%》	1回 《10.0%》	11回 《110.0%》	8回 《80.0%》	10回	達成できた	まちづくり出前講座の依頼の再開や、公民館・児童ホーム等の事業の再開により、対象の事業を実施することができた。	10回	今後も対象の施設と連携し、事業を行っていく。
		9	10代の利用者向け事業の実施	10代の利用者の興味・関心の高い講座等の事業を実施する。	図書館	—	10代の利用者向け事業の開催回数	0回 《0.0%》	5回 《62.5%》	6回 《75.0%》	4回 《50.0%》	8回	あまり達成できていない	10代の利用者が将来を決めるために役立つような講座や、学校と連携した企画展示やイベントを開催した。また、若い世代が活用しているTwitterを使用し、オンライン投稿企画を実施した。	8回	中間目標値は達成しているが、当初目標値に向けて引き続き企画を進めていく。今後も10代の利用者が興味・関心のある講座・企画等を開催していく。また10代の利用者が参加しやすいよう、オンラインやTwitterを使用するなど開催方法を工夫していく。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組
								令和2年度	令和3年度	令和4年度						
								《目標値に対する進捗率》								
1		10	YAコーナーを活用した交流の場の提供	10代の利用者によるおすすめ本の紹介コーナーを設置する等、利用者同士が読書を通じて交流していく場を提供する。	図書館	—	参加人数	160人 《80.0%》	277人 《138.5%》	238人 《119.0%》	50人 《25.0%》	200人	達成できた	各図書館に設置したコミュニケーションボードを用いて、図書館側が提示したテーマに対する投稿を掲示した。また、投稿内容をHPやTwitterで紹介し、より多くの人の目に触れるようにした。	200人	テーマによって投稿数に変動がある。YA世代が興味を持ちそうなテーマを設定できるように、情勢や中学高校の年間行事予定等を考慮していく。
			外国語の図書の充実	日本語以外の言葉を母国語とする子供向けの図書等の充実を図る。	図書館	—	外国語の図書の蔵書数	2,030冊 《101.5%》	2,104冊 《105.2%》	2,119冊 《106.0%》	1,700冊 《85.0%》	2,000冊	達成できた	計画的に購入し、目標値を達成することができた。	2,240冊	1年で40冊程度の購入を目安として見直し後目標値を設定した。 今後も計画的に購入していく。
			ハンディキャップサービスの充実	多様な支援を必要とする子供のための図書等（点字絵本・LLブック等）の充実を図る。	図書館	—	点字絵本の所蔵状況	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	— —	令和3年度と比較し、各種類の蔵書数を増やす	達成できた	中間目標値の全館での所蔵を達成し、当初目標値の令和3年度と比較した各種類の蔵書数についても、点字絵本の所蔵数は令和3年度が102点、令和4年度が109点、LLブックの所蔵数は令和3年度が101点、令和4年度が118点と、共に前年度より増加しており、達成することができた。	前年度と比較し、各種類の蔵書数を増やす。	前年度と比較した各種類の蔵書数の増加を見直し後目標値として設定した。 引き続き資料の収集に努める。
2	2	12	YAだよりの配布	10代の利用者向けに「YAだより」等で情報発信を行う。	図書館	—	発行回数	9回 《225.0%》	10回 《250.0%》	10回 《250.0%》	4回 《100.0%》	4回	達成できた	西図書館で4回、東図書館で6回発行した。また、ホームページに「YAだより」を掲載し、図書館に来館することが難しい方も閲覧できるようにしている。なお、図書館ホームページ「10代向けのページ」の「オススメ本紹介」では、「YAだより」で取り上げた図書を図書館システムと連動させ利用しやすいようにしている。	10回	東図書館でも定期的に「YAだより」を発行しているため、西図書館と東図書館の発行回数を見直し後目標値として設定した。 新刊や特集展示の紹介のほかに、投稿されたおすすめの本やイラストを掲載している。これからも興味をもたれるような記事にしていきたい。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組
								令和2年度	令和3年度	令和4年度						
								《目標値に対する進捗率》								
1	2	14	児童ホームでの読み聞かせ活動の実施	地域の子育て支援の一環として、乳幼児と保護者を対象とした、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせ活動を実施する。(全館)	児童ホーム	地域文庫・ボランティア等	読み聞かせ活動の実施回数	114回 《6.7%》	683回 《40.2%》	1,233回 《72.5%》	1,600回 《94.1%》	1,700回	あまり達成できていない	各児童ホームにおいて、おはなし会イベントや事業の中で絵本の読み聞かせ活動を実施した。中間目標値に対して77%の達成率となった。	1,700回	施設により実施回数に差があるため、回数の少ない施設へ事業の中で積極的に読み聞かせ活動を実施するよう周知を図る。
		15	子育て支援センターでの読み聞かせ活動の実施	地域の子育て支援の一環として、乳幼児と保護者を対象とした、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせ活動を実施する。(全センター)	子育て支援センター	地域文庫・ボランティア等	読み聞かせ活動の実施回数	8回 《28.6%》	23回 《82.1%》	469回 《1675.0%》	28回 《100.0%》	28回	達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて読み聞かせ活動を実施した。	500回	昨年度までは、おはなし会など読み聞かせを主とする事業のみの回数としていたが、児童ホームと基準を統一するため、事業の中で絵本の読み聞かせを行ったものをすべて含めることとし、目標値を見直した。 事業の中で積極的に読み聞かせ活動を実施していく。
		16	公民館におけるおはなし会の実施	幼児や児童を対象とした読み聞かせ、わらべうた、手遊び等を行い、読書に興味・関心を持たせたり、読書に親しんだりする機会を提供する。	公民館	地域文庫・ボランティア等	実施館数	7館 《26.9%》	12館 《46.2%》	11館 《42.3%》	20館 《76.9%》	26館(全館)	達成できていない	未就学児親子を対象に絵本歌、わらべ歌のコンサート、絵本の紹介を行った。 また、近隣小学校の児童を対象に、千葉県立船橋豊富高校図書委員会による企画事業として、読み聞かせ及び交流を図るなどしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施館数が伸び悩んだ。	26館	毎月実施している講座では、定期的に参加してくれる方もいるが、1回の参加者数が回ごとに幅があり、出来るだけ多くの方に参加してもらえるよう児童ホームや図書室と協力して周知を図っていく。周知方法以外にも、より興味を引くような工夫(過去のアンケート結果を活用した講座内容の設定等)が必要。 また、おはなし会を実施していない館に対する働きかけにも力を入れていく。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組
								令和2年度	令和3年度	令和4年度						
								《目標値に対する進捗率》								
1		17	公民館における読書感想文講座の実施	読書の習慣がない小学生を対象に読書感想文の書き方講座を実施する。	公民館	—	実施館数	0館	8館	9館	15館	26館 (全館)	達成できていない	読書離れが進む中、読書が苦手、文章表現が不得意な子供が多くなっているため、小学生を対象に読書感想文の書き方のポイントや本の選び方などを学び、読書の楽しさを知るきっかけ作りを目的に講座を実施した。	26館	参加した子供たち、それぞれの感性をより引き出せるよう、担当講師と連携し更なる改良の上、今後も継続し実施していく。また、参加者の満足度からも需要があることは確かなので、実施していない公民館の事業担当者とも情報を共有しながら、実施館数を増やしていく。
			《0.0%》	《30.8%》	《34.6%》	《57.7%》										
	2	18	講座等を通じた子供が本に触れる機会の提供	公民館で行われる子供や親子向けの講座等において、講座に関連した図書を紹介し、遊ぶ・作るなどの体験と読書を結び付け、読書の楽しさや関心を持つ機会を提供する。	公民館	図書館	実施館数	0館	0館	1館	15館	26館 (全館)	達成できていない	読み聞かせ、わらべうた、絵本の選び方などを学ぶ講座を実施し、大型絵本の「びよーん」をはじめ、わらべうたの「こはとうちゃんにんどころ」、「さよならあんころもち」等を紹介した。	26館	今後も子供や親子向けの講座を企画していきたい。また、実施していない公民館の事業担当者とも情報を共有するなどして実施館数を増やしていく。
			《0.0%》	《0.0%》	《3.8%》	《57.7%》										
2		19	放課後ルームの図書の購入	図書館の団体貸出を利用しているものの、蔵書数が少ないとの声があるため、新たに図書を購入し、蔵書の充実を図る。	放課後ルーム	—	新たに図書を購入する冊数	1,268冊	2,133冊	2,695冊	900冊	2,000冊	達成できた	図書の購入を進めた。	4,500冊	直近の実績値が、当初目標値を達成したため、再度目標値を見直した。 消耗品費で図書購入費を設け、毎年新たに図書を購入している。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組
								令和2年度	令和3年度	令和4年度						
								《目標値に対する進捗率》								
3	2	20	児童ホームでの「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」等にちなんだ普及啓発の推進	「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ、本に関連した事業の実施を図る。	児童ホーム	—	読み聞かせ活動等の実施館数	0館 《0.0%》	15館 《71.4%》	15館 《71.4%》	10館 《47.6%》	21館 (全館)	あまり達成できていない	読書週間中の読み聞かせ活動などを7割の児童ホームで実施し、中間目標を達成した。	21館	今後は全館で実施していくよう各施設への周知を強化する。
		21	子育て支援センターでの「子ども読書の日」等にちなんだ普及啓発の推進	「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ本に関連した事業の実施を図る。	子育て支援センター	—	読み聞かせ活動等の実施施設数	0施設 《0.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設)	達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて講座を実施し、目標値を達成した。	2施設	今後も引き続き事業を実施していく。
2		22	公立保育園職員の絵本に関する技術向上	職員の技術向上のため、図書館職員による絵本やお話の講座に参加する。	公立保育園	図書館	参加園数	0園 《0.0%》	0園 《0.0%》	0園 《0.0%》	8園 《29.6%》	27園 (全園)	達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加することが出来なかった。	27園	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更（5類移行）に伴い、改めて参加を検討していく。
1	3	23	学校図書館運営計画の作成	読書年間指導計画や学校図書館運営計画を作成し、図書主任を中心として、全教職員が共通理解のもと連携・協力して児童生徒の読書指導を進める。	小・中・特別支援学校	—	学校図書館運営計画を作成している学校数	82校 (全校) 《100.0%》	83校 (全校) 《101.2%》	83校 (全校) 《101.2%》	82校 (全校) 《100.0%》	82校 (全校)	達成できた	各学校に学校図書館の年間学習計画の作成を啓発した。	82校 (全校)	令和5年度の5月に開催した図書主任研修会で、年間学習計画に情報活用の指導計画も記載するよう各校に指導した。読書センター・学習センター・情報センターとしての学校図書館活用全体計画の作成を今後も啓発していく。
		24	「朝読書」や「読み聞かせ」等の実施	読書習慣を身に付けさせるため「朝読書」や「読み聞かせ」等を、各学校の実情に合わせて取り組む。	小・中・特別支援学校	—	朝読書、読み聞かせ等を実施している学校数	70校 《85.4%》	77校 《93.9%》	81校 《98.8%》	82校 (全校) 《100.0%》	82校 (全校)	概ね達成できた	昨年度よりも実施している学校数は増えているが、100%を達成することができなかった。	82校 (全校)	今後さらなる実施が見込まれるため、学校の実情に合わせた取り組みを推進していく。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組
								令和2年度	令和3年度	令和4年度						
								《目標値に対する進捗率》								
1		25	読書習慣の形成	卒業までに一定量の読書を推奨する等、学校や家庭における読書習慣が身に付くよう促す。	小・中学校	—	児童生徒総貸出冊数	3,402,300冊 ※目標冊数 4,000,000冊	3,731,833冊 ※目標冊数 4,000,000冊	3,872,185冊 ※目標冊数 4,000,000冊	※「船橋市国語力向上推進委員会」が設定する目標冊数	※「船橋市国語力向上推進委員会」が設定する目標冊数	概ね達成できた	貸出総数は令和3年度よりも、140,000冊ほど増加した。新型コロナウイルス感染症拡大防止による活動の制限、一人一台タブレットの影響は依然としてあるが、回復傾向が見られる。	4,000,000冊 ※「船橋市国語力向上推進委員会」が設定する目標冊数	各校の取組を共有し、令和5年度も4,000,000冊を目標に読書量の向上を啓発していく。
		26	読書意欲を高める取組の実施	ポップづくりやブックトーク、ピプリアバトル等、児童生徒が相互に図書を紹介する活動や、読書意欲を高める取組を行う。	小・中学校	—	取組を実施している学校数	80校 《98.8%》	80校 《98.8%》	81校 《100.0%》	81校(全校) 《100.0%》	令和3年度に塚田南小が新設されたため、82校で調査。	概ね達成できた	ICTの活用など、読書意欲向上を目指し、各校が積極的に取り組んでいた。	81校(全校) 令和3年度に塚田南小が新設され、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	研修会や要請訪問等を通して、学校図書館の連携や読書を積極的に取り入れた国語科学習を実施するよう啓発していく。
		27	大穴小学校市民図書室おはなし会の実施	地域のボランティア団体と連携し、市民図書室内で絵本の読み聞かせ等を行うおはなし会を実施する。	市民図書室	ボランティア	おはなし会の延実施回数	53回 《63.1%》	56回 《66.7%》	60回 《71.4%》	64回 《76.2%》	84回	今年度は年度当初の予定通り4回開催することができたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度(0回)、令和3年度(3回)と実施回数が減ったことで中間目標値には届かなかった。	4回 おはなし会の年実施回数	ボランティア団体の代表と協議した結果、今後年5回以上の開催は難しいとのこと。また、これまでは延実施回数を目標値に設定していたが、達成状況がわかりやすいよう年度ごとの指標とし、現状の年4回の開催を目安に、見直し後目標値を設定した。	今後も引き続き事業を実施していく。
2		28	学校図書館の蔵書の管理	定期的に蔵書点検を行い、新しい本と使用に耐えない本との入れ替えを図りながら、「学校図書館図書標準」(文部科学省)で定める基準冊数を維持できるように学校図書館の蔵書を管理する。	小・中・特別支援学校	—	「学校図書館図書標準」基準冊数を達成している学校数	82校(全校) 《100.0%》	83校(全校) 《101.2%》	83校(全校) 《101.2%》	82校(全校) 《100.0%》	82校(全校) 令和3年度に塚田南小が新設されたため、83校で調査。	達成できた	令和4年度、全ての小中特別支援学校で学校図書館図書標準を達成することができた。	82校(全校) 令和3年度に塚田南小が新設され、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	100%を切るということがないように廃棄冊数を管理し、学校図書標準の維持に努める。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組		
								令和2年度	令和3年度	令和4年度								
								《目標値に対する進捗率》										
2	3	29	学校図書館資料の充実	子供たちが幅広いジャンルから本を選び、多くの図書に触れる機会がもてるよう、図書主任や司書教諭、学校司書を中心に学校図書館資料の充実を図る。	小・中・特別支援学校	—	図書選定委員を組織している学校数	43校 《 52.4% 》	49校 《 59.8% 》	66校 《 80.5% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校)	令和3年度に塚田南小が新設されたため、83校で調査。	概ね達成できた	選書・廃棄の図書の選定について組織化されている学校が増えている。しかし、依然として学校司書に任せ、図書主任等には報告だけになっている学校もある。	82校 (全校)	令和3年度に塚田南小が新設されたため、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	図書の選書や廃棄を管理職も含めて組織的に行うよう、研修会等を通して、今後も啓発していく。
		30	特設コーナーの設置	総合的な学習の時間や教科等の授業で学んでいる内容の本や、季節ごとの行事に関する本などを集めた「特設コーナー」の設置を行う。	小・中・特別支援学校	—	特設コーナーを設置している学校数	79校 《 96.3% 》	82校 《 100.0% 》	82校 《 100.0% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校)	令和3年度に塚田南小が新設されたため、83校で調査。	概ね達成できた	ほぼ全小中特別支援学校の学校図書館で、学校司書が創意工夫した特設コーナーが設置されている。	82校 (全校)	令和3年度に塚田南小が新設されたため、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	他校の学校図書館を見学する研修や報告書等により、各校のアイデアを共有できるようにする。
		31	障害のある児童生徒への読書環境の整備	LLブックや点字本等、発達に応じた図書資料の整備を行う。	小・中・特別支援学校	—	発達に応じた図書資料を所蔵している学校数	68校 《 82.9% 》	72校 《 87.8% 》	78校 《 95.1% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校)	令和3年度に塚田南小が新設されたため、83校で調査。	概ね達成できた	障害のある児童生徒が在籍するか否かで、発達に応じた図書資料の整備状況が異なっている。	82校 (全校)	令和3年度に塚田南小が新設されたため、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	引き続き、各学校に障害者の読書環境整備を啓発していく。
		32	図書物流の活用	図書館と学校図書館、各学校図書館の間で、図書相互貸借のための図書物流の活用を図るとともに、図書館と学校図書館の横断検索等により、図書活用を幅を広げる。	小・中・特別支援学校	図書館	図書物流を利用した学校数	82校 (全校) 《 100.0% 》	83校 (全校) 《 101.2% 》	83校 (全校) 《 101.2% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校)	令和3年度に塚田南小が新設されたため、83校で調査。	達成できた	令和4年度は全小中特別支援学校が図書物流を利用することができた。総物流件数は20,476件だった。	82校 (全校)	令和3年度に塚田南小が新設されたため、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	令和5年度も年間37回実施し、公立図書館と連携しながら、学校図書館活用を推進していく。
		33	図書主任、学校司書の資質向上	児童生徒の自主的な読書活動を推進していくために、図書主任、学校司書の研修の機会を設け、教職員等の資質向上に努める。	小・中・特別支援学校	—	図書主任の研修会の件数	2件 《 66.7% 》	3件 《 100.0% 》	3件 《 100.0% 》	3件 《 100.0% 》	3件	3件	全ての研修会を実施することができた。(小学校の合同研修会のみオンライン) 2月の研修会は、講師を招き、著作権について講演を行った。	3件	3件	昨年度に引き続き、要望が多かった他校の学校図書館見学、ICT・著作権についての研修を充実させ、学校司書・図書主任等の資質向上を図る。	
							学校司書の研修会の件数	2件 《 50.0% 》	3件 《 75.0% 》	4件 《 100.0% 》	4件 《 100.0% 》	4件		4件				
							内、合同研修	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件			小中各1件			

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	当初目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和4年度)	見直し後 目標値 (令和7年度)	現状の課題・今後の取組
								令和2年度	令和3年度	令和4年度						
								《目標値に対する進捗率》								
2	3	34	ボランティアとの連携	ボランティアとの連携を図り、学校図書館の環境づくりや児童生徒への読み聞かせ等を行う。	小・中学校	地域文庫・ボランティア等	ボランティアを導入している学校数	35校 《43.2%》	30校 《37.0%》	38校 《46.9%》	81校 (全校) 《100.0%》	81校 (全校) 令和3年度に塚田南小が新設されたため、82校で調査。	達成できていない	令和3年度よりも学校数は増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部人材を招くことを控えた学校が依然として多くなっている。	81校 (全校) 令和3年度に塚田南小が新設され、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	令和5年度は、実施を予定している学校が多いため、実情に合わせた取り組みを推進していく。
		35	市民図書室の蔵書の充実	地域住民の生涯学習の振興に資するため、市民図書室の蔵書の充実を図る。	市民図書室	—	全体の蔵書数	24,405冊 《67.4%》	25,670冊 《70.9%》	26,844冊 《74.2%》	35,600冊 《98.3%》	36,200冊	あまり達成できていない	【大穴小学校市民図書室】 8,770冊 大穴小学校市民図書室は、令和2年度に所管を西図書館に移管した際、図書整備を行ったことから蔵書が減少したが、利用傾向に合った新刊書やリクエストの資料を購入している。 【高根小学校市民図書室】 18,074冊 高根小学校市民図書室は、定期的な図書の購入により、継続して蔵書の充実を図った。	27,000冊	令和2年度に図書館とネットワーク化し、大穴小学校市民図書室の所管を西図書館に移管した際、図書の整備を行ったことから蔵書が減少したため、目標値を見直した。 継続して蔵書の充実を図っていく。
3	3	36	「子ども読書の日」等における啓発	「子ども読書の日」や「読書週間」に関連した取組を行う。	小・中学校	—	取組を実施している学校数	75校 《92.6%》	79校 《97.5%》	79校 《97.5%》	81校 (全校) 《100.0%》	81校 (全校) 令和3年度に塚田南小が新設されたため、82校で調査。	概ね達成できた	小学校は53校、中学校では26校で、読書祭り等の活動を実施した。読書意欲を高める活動への意識が高まっている。	81校 (全校) 令和3年度に塚田南小が新設され、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	学校司書報告書の配付や研修会等を通じて、各校の取組を紹介し推進していく。
		37	図書館便り・学校ホームページ等による情報の発信	学校便りや図書館便り、学校ホームページ等で図書に関する情報を発信する。	小・中・特別支援学校	—	情報を発信している学校数	80校 《97.6%》	82校 (全校) 《100.0%》	83校 (全校) 《101.2%》	82校 (全校) 《100.0%》	82校 (全校) 令和3年度に塚田南小が新設されたため、83校で調査。	達成できた	全小・中・特別支援学校において、図書館だよりを発行し、情報発信を行っている。	82校 (全校) 令和3年度に塚田南小が新設され、令和4年度をもって金杉台中が閉校したため、目標値に変更なし。	引き続き図書館だより等、情報の発信について働きかけていく。

船橋市子供の読書に関するアンケート調査結果

(1) 調査目的

第三次船橋市子供の読書活動推進計画は、令和元年度から令和7年度を計画期間とし、計画期間の3～4年である令和5年度に計画の達成状況、社会情勢の変化等を踏まえた見直しを図る予定である。計画の見直しに向けて計画の達成状況を分析するため、子供の読書に関するアンケート調査を行った。

(2) 調査対象及び調査方法

(回収率は少数点第2位を四捨五入)

対象		調査方法	調査対象数	回収数	回収率
小学生	<ul style="list-style-type: none"> 市立小学校 55 校 各 1 クラス (※1) 市立船橋特別支援学校 小学部 3・4 年 	学校を通じて配布・回収	1,695 人	1,566 人	92.4%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> 市立中学校 27 校 各 1 クラス (※1) 市立船橋特別支援学校 中学部 2・3 年 		838 人	731 人	87.2%
高校生 (※2)	<ul style="list-style-type: none"> 市立船橋高等学校 2 年 県立船橋芝山高等学校 2 年 県立薬園台高等学校 2 年 県立船橋古和釜高等学 校 2 年 市立船橋特別支援学校 高等部 2 年 		1,174 人	1,094 人	93.2%
未就学児 の保護者	市内在住の未就学児の保護者を対象に、住民基本台帳より無作為抽出	郵送により配布・回収 (回答は郵送もしくは船橋市図書館ホームページの回答フォームを利用)	900 人	330 人	40.3%
合計			4,608 人	3,721 人	80.8%

(※1) 市立小学校・市立中学校の調査対象各1クラスを抽出

各学校の調査対象となる学年については、回答する学年が均等になるように西図書館から各学校へ対象学年を指定して調査依頼し、その学年の中から各学校が調査を実施する1クラスを抽出した。(二段抽出法)

(※2) 高校の調査対象を前回の1校から5校に変更

(3) 調査実施時期

令和4年(2022年)11月17日(木)～12月9日(金)

(4) 第三次船橋市子供の読書活動推進計画の目標値

目標とする数値を次のとおり設定しています。

項目	対象者※	平成29年度	令和4年度 (今回調査)	目標値 (令和7年度)
読書が好きな子供の割合	小学生	89.8%	87.6%	100%
	中学生	82.6%	77.0%	100%
	高校生	67.8%	67.1%	
1か月に読んだ本が 0冊の子供の割合	小学生	2.9%	4.3%	0%
	中学生	8.6%	17.1%	0%
	高校生	51.1%	47.9%	

(出典) 平成29年度：船橋市子供の読書に関するアンケート調査(平成29年10月～11月実施)

※未就学児は保護者に対してアンケートを行っていることから、目標は設定していません。また、高校生については、高等学校は県立・私立ともに本市に指導権限がないことから、目標は設定していません。

(5) アンケート調査結果の詳細

グラフの回答比率は、少数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

児童生徒の読書活動に関するアンケート結果 (小学生・中学生・高校生対象)

アンケート調査の実施期間：今回（令和4年[2022年]11月～12月）

前回（平成29年[2017年]10月～11月）

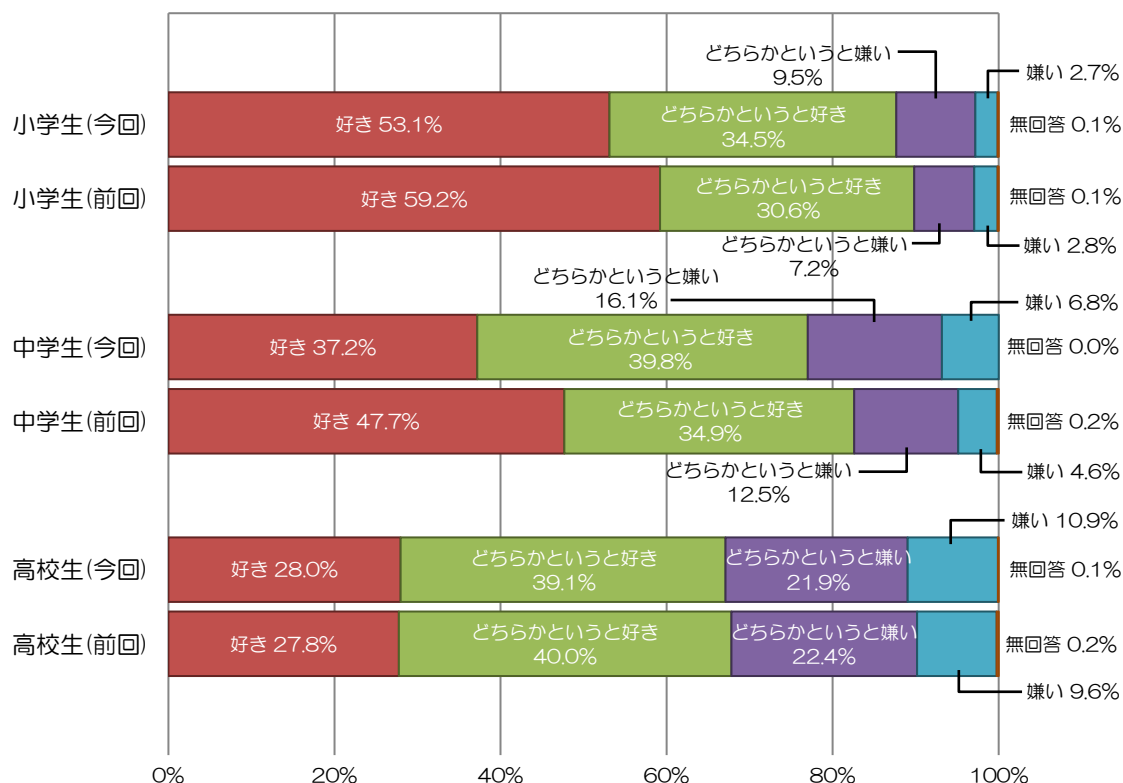
1 あなたは、読書が好きですか。（1つ選択）

「好き」「どちらかという好き」を合わせた割合は、小学生・中学生・高校生ともに60%以上となっている。しかし、前回と比較すると、「好き」「どちらかという好き」を合わせた割合は小学生・中学生ともに少し低くなっている。また前回と同様に、学校段階が進むにつれ、「好き」「どちらかという好き」を合わせた回答の割合が減少し、「嫌い」「どちらかという嫌い」を合わせた割合が増加している。

前回に比べ、児童生徒全体の読書離れが進んでおり、学級段階が進むにつれより顕著になっている。

（有効回答数 小学生：1,566 中学生：731 高校生：1,094）（単位：人）

選択項目	小学生	中学生	高校生
好き	832	272	306
どちらかという好き	541	291	428
どちらかという嫌い	149	118	240
嫌い	42	50	119
無回答	2	0	1



② あなたは、読む本をどのようにして用意することが多いですか。（2つまで選択）

「買ったり、買ってもらったりする」「学校の図書室で借りる」の割合は、小学生・中学生・高校生ともに前回と比べると低くなっているのに対し、「家にある本を読む」の割合は増加している。「学校の図書室で借りる」の割合は、小学生が（79.1%）と高いが、中学生（32.9%）、高校生（7.8%）と学校段階が進むにつれ低くなっている。また、「市の図書館、公民館の図書室、地域の文庫などから借りる」の割合は、小学生（16.0%）、中学生（7.5%）、高校生（8.0%）ともに低かった。

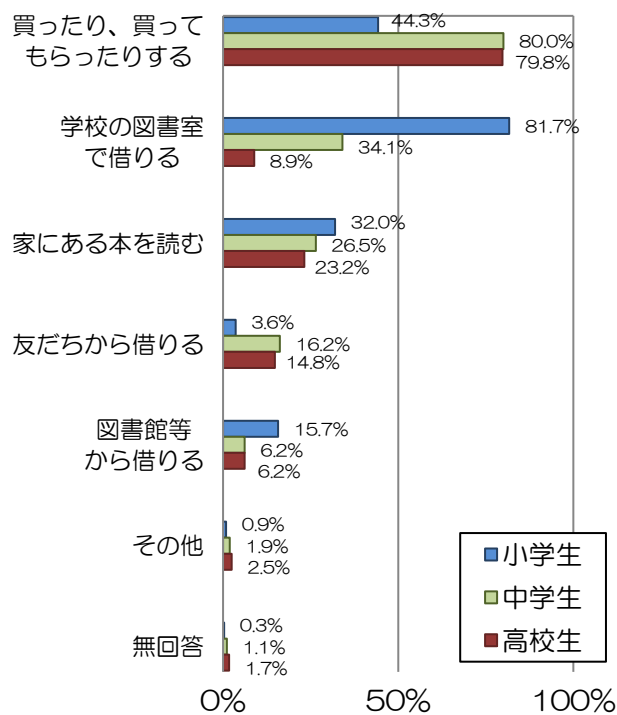
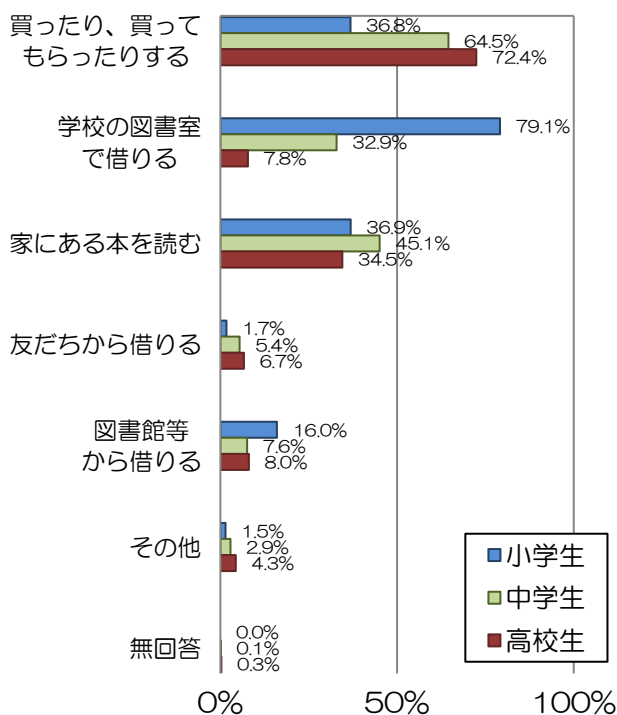
小学生は、学校の図書室で借りることが多く、中学生・高校生は書店等で購入する方が多いことがわかる。またコロナ禍での臨時休校等により学校図書館の利用が制限されたことで、家にある本を読む割合が増加したと考えられる。

（有効回答数 小学生：1,508 中学生：699 高校生：1,081） （単位：件）

選択項目	小学生	中学生	高校生
買ったり、買ってもらったりする	555	451	783
学校の図書室で借りる	1,193	230	84
家にある本を読む	556	315	373
友だちから借りる	26	38	72
市の図書館、公民館の図書室、地域の文庫などから借りる	241	53	87
その他	22	20	47
無回答	0	1	3

今回

前回



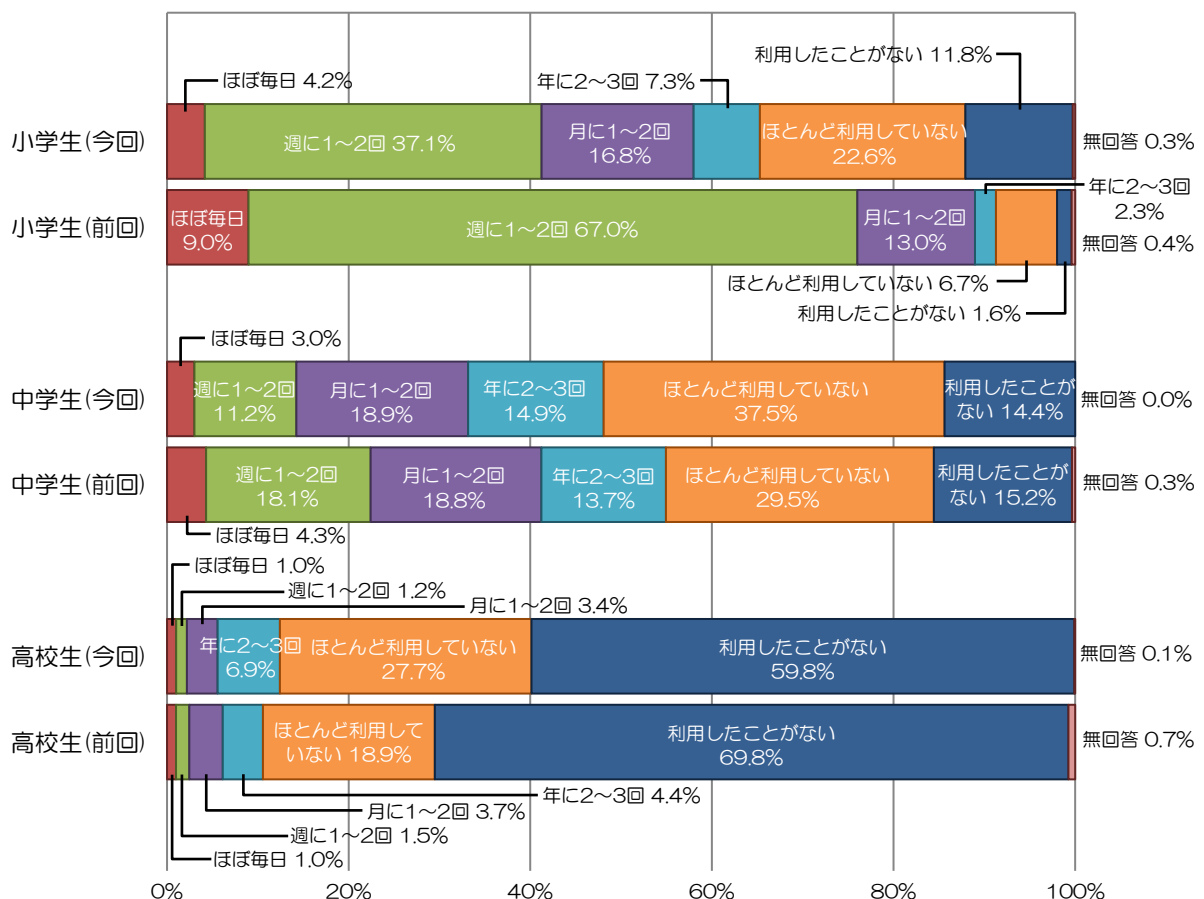
③ あなたは、読書を目的として学校の図書室を利用していますか。（1つ選択）

「ほとんど利用していない」、「利用したことがない」を合わせた割合は、小学生(34.4%)、中学生(51.9%)、高校生(87.5%)で、前回と比較すると、小学生・中学生の割合が高くなっている。特に小学生は前回と比べ26.7%増加している。

コロナ禍での臨時休校等により学校図書館の利用が制限されたことが影響していると考えられる。

(有効回答数 小学生：1,564 中学生：730 高校生：1,094) (単位：人)

選択項目	小学生	中学生	高校生
ほぼ毎日利用している	65	22	11
週に1~2回、利用している	580	82	13
月に1~2回、利用している	262	138	37
年に2~3回、利用している	114	109	75
ほとんど利用していない	354	274	303
利用したことがない	185	105	654
無回答	4	0	1



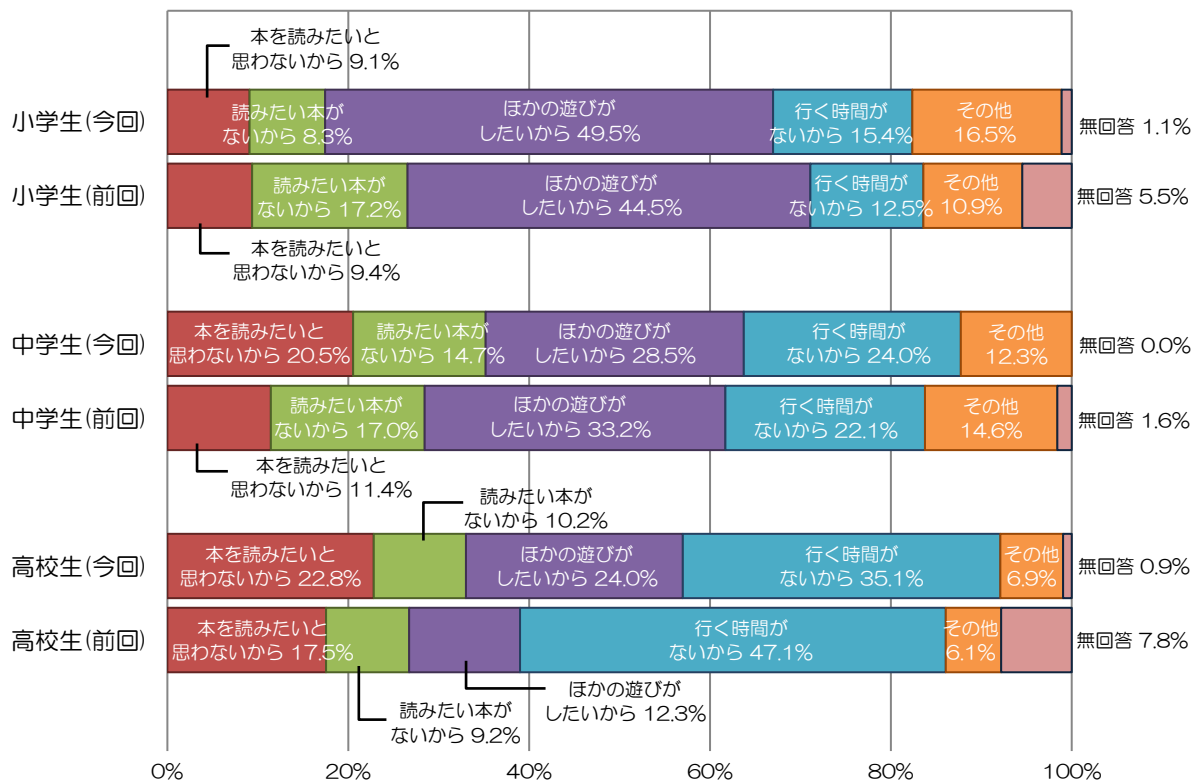
③-2 (③で「ほとんど利用していない」または「利用したことがない」と答えた人に) その理由は何ですか。(1つ選択)

「ほとんど利用していない」「利用したことがない」と答えた人にその理由を聞いたところ、小学生・中学生は、「ほかの遊びがしたいから」の割合が小学生(49.5%)、中学生(28.5%)と最も高くなっている。なお高校生は「行く時間がないから」が35.1%と最も高くなっている。また、中学生・高校生の「本を読みたいと思わないから」の割合は、中学生(20.5%)、高校生(22.8%)と前回に比べ高くなっている。

本への関心の低下と日々の過ごし方の多様化が、学校の図書室を利用しない理由となっていることがわかる。

(有効回答数 小学生：539 中学生：375 高校生：951) (単位：人)

選択項目	小学生	中学生	高校生
本を読みたいと思わないから	49	77	217
読みたい本がないから	45	55	97
ほかの遊びがしたいから	267	107	228
行く時間がないから	83	90	334
その他	89	46	66
無回答	6	0	9

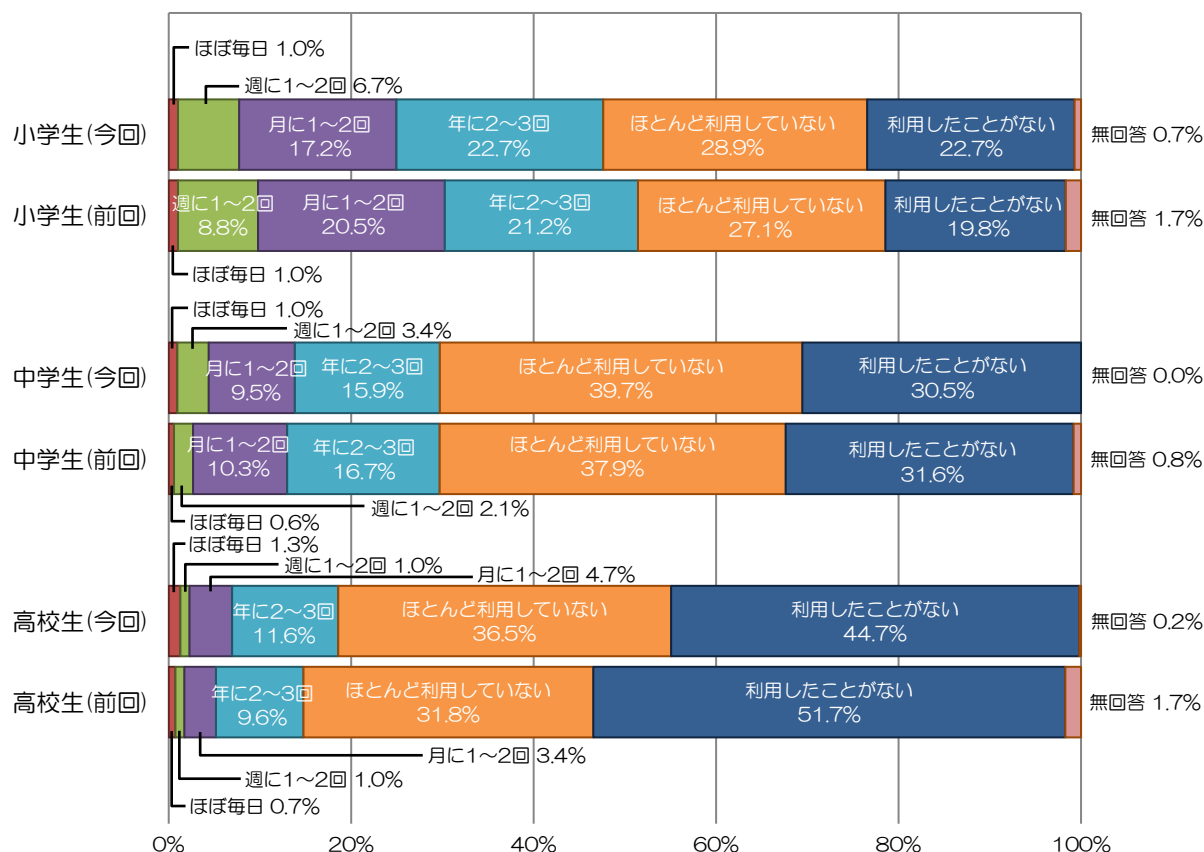


4 あなたは、読書を目的として学校以外の図書館や図書室などを利用していますか。
(1つ選択)

「ほとんど利用していない」「利用したことがない」を合わせた割合は、小学生(51.6%)、中学生(70.2%)、高校生(81.2%)と、いずれも高い割合であり、また前回と同様に、学校段階が進むにつれて利用しない割合が高くなっている。

(有効回答数 小学生：1,566 中学生：730 高校生：1,093) (単位：人)

選択項目	小学生	中学生	高校生
ほぼ毎日利用している	16	7	14
週に1~2回、利用している	105	25	11
月に1~2回、利用している	270	69	51
年に2~3回、利用している	355	116	127
ほとんど利用していない	453	290	399
利用したことがない	356	223	489
無回答	11	0	2



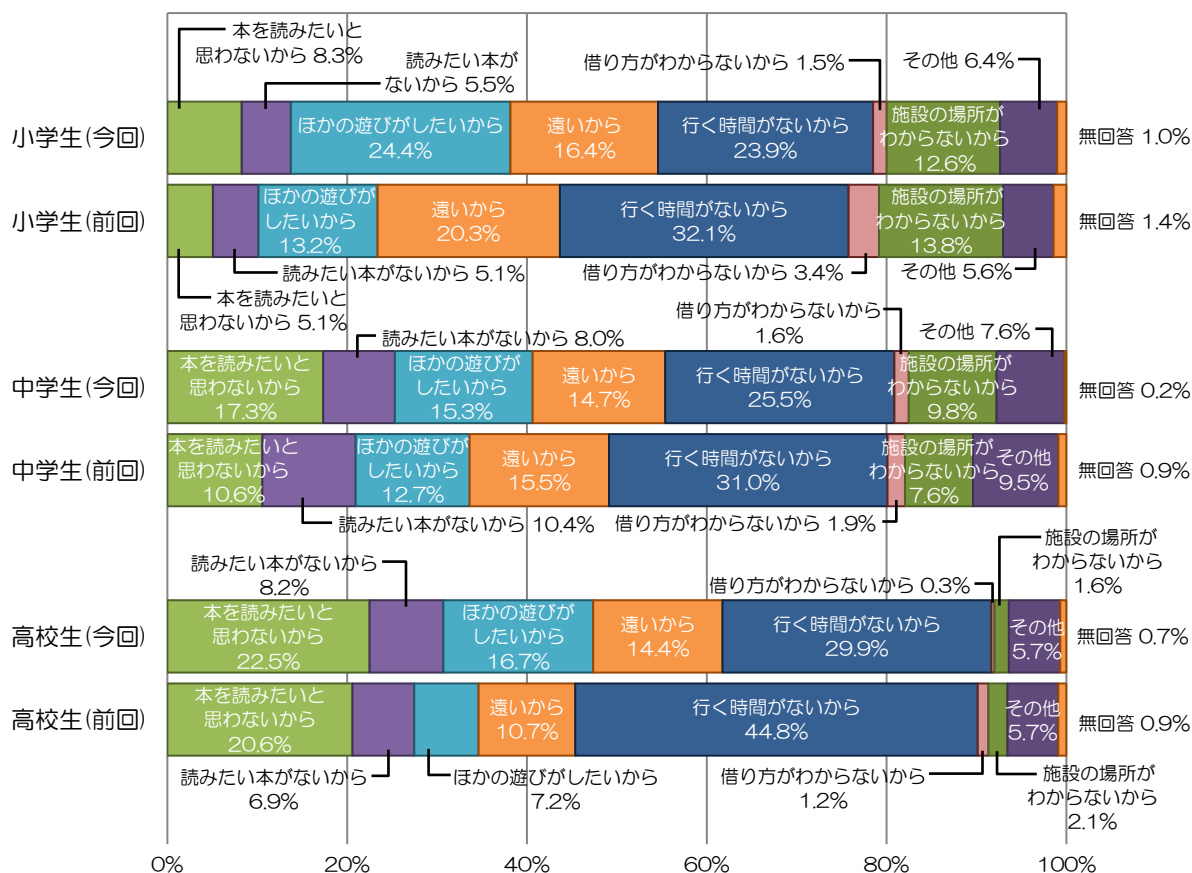
4-2 (4)で「ほとんど利用していない」または「利用したことがない」と答えた人に)その理由は何ですか。(1つ選択)

「ほとんど利用していない」「利用したことがない」と答えた人にその理由を聞いたところ、小学生・中学生・高校生ともに、「本を読みたいと思わないから」、「ほかの遊びがしたいから」の割合が前回に比べ高くなっている。

本への関心の低下と日々の過ごし方の多様化が、図書館等を利用しない理由となっていることがわかる。

(有効回答数 小学生：786 中学生：502 高校生：876) (単位：人)

選択項目	小学生	中学生	高校生
本を読みたいと思わないから	65	87	197
読みたい本がないから	43	40	72
ほかの遊びがしたいから	192	77	146
遠いから	129	74	126
行く時間がないから	188	128	262
借り方がわからないから	12	8	3
施設の場所がわからないから	99	49	14
その他	50	38	50
無回答	8	1	6

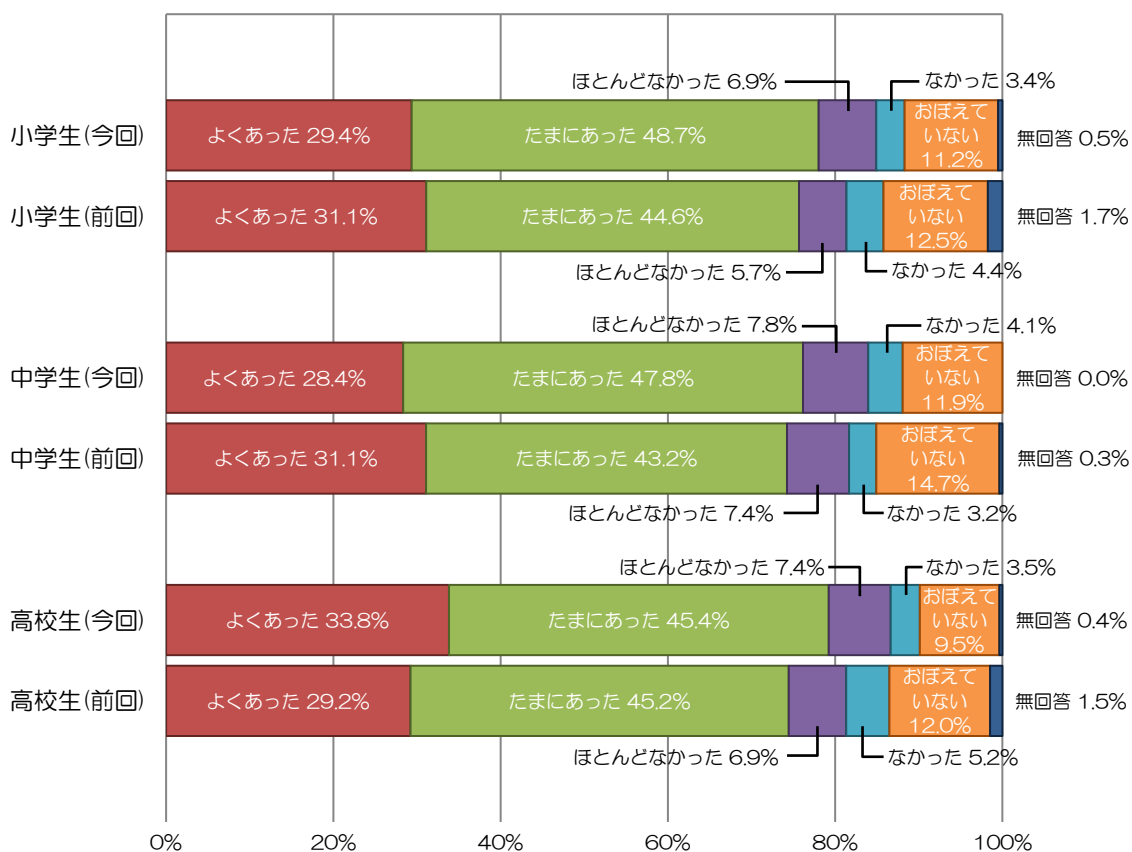


⑤ あなたは、小さいころ（小学校に入学する前）、本屋や図書館に連れていってもらったことがありましたか。（1つ選択）

「よくあった」「たまにあった」を合わせた割合は、小学生（78.1%）、中学生（76.2%）、高校生（79.2%）と前回に比べ高くなっており、7割以上の児童生徒が小学校に入学する前（小さいころ）、本屋や図書館に連れていってもらっている。

（有効回答数 小学生：1,566 中学生：730 高校生：1094）（単位：人）

選択項目	小学生	中学生	高校生
よくあった	460	207	370
たまにあった	762	349	497
ほとんどなかった	108	57	81
なかった	53	30	38
おぼえていない	175	87	104
無回答	8	0	4



小さいころ（小学校に入学する前）に本屋や図書館に連れて行ってもらった頻度（設問⑤）と読書が好きな割合（設問①）を比較すると、小さいころ（小学校に入学する前）に本屋や図書館に連れて行ってもらった経験が「よくあった」と答えた人は、読書を「好き」の割合が60.9%であるのに対し、「なかった」と答えた人は、29.8%と低くなっている。

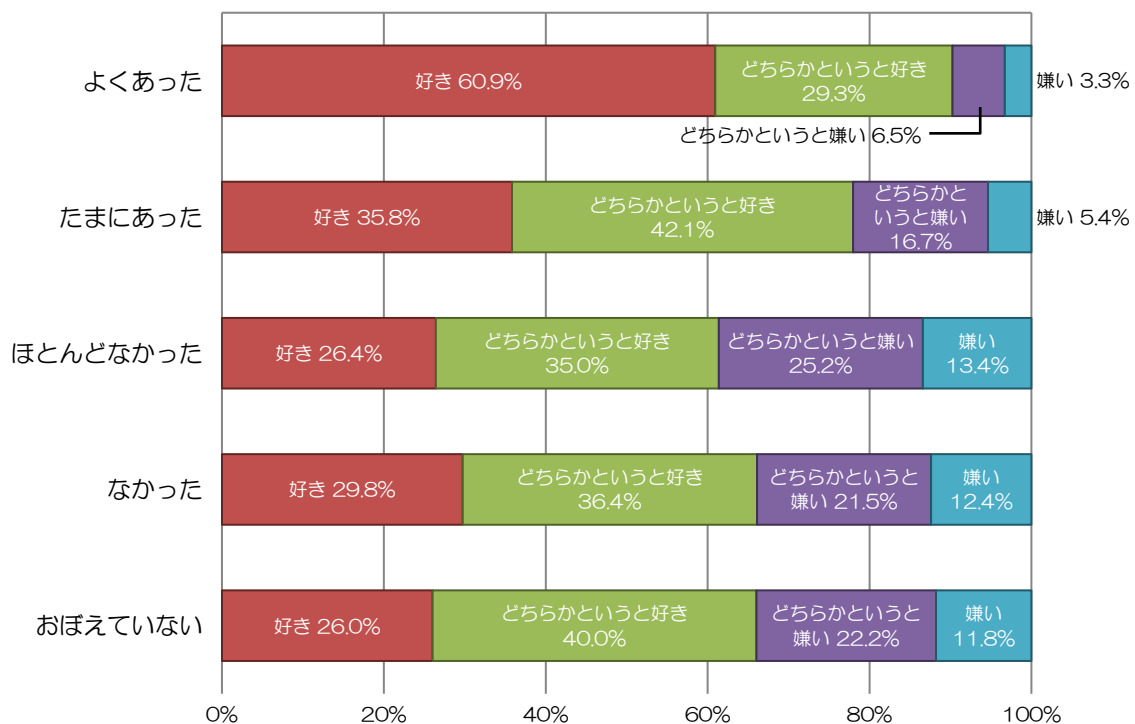
小さいころ（小学校に入学する前）に本屋や図書館に通った経験が、読書好きに繋がっていることがわかる。

（回答数は、無回答を除いた小学生・中学生・高校生の合計）

（単位：人）

選択項目	好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い	計
よくあった	632	304	67	34	1037
たまにあった	576	677	268	86	1607
ほとんどなかった	65	86	62	33	246
なかった	36	44	26	15	121
おぼえていない	95	146	81	43	365

小さいころ（小学校に入学する前）に本屋や図書館に連れて行ってもらった頻度と読書が好きな子供の割合

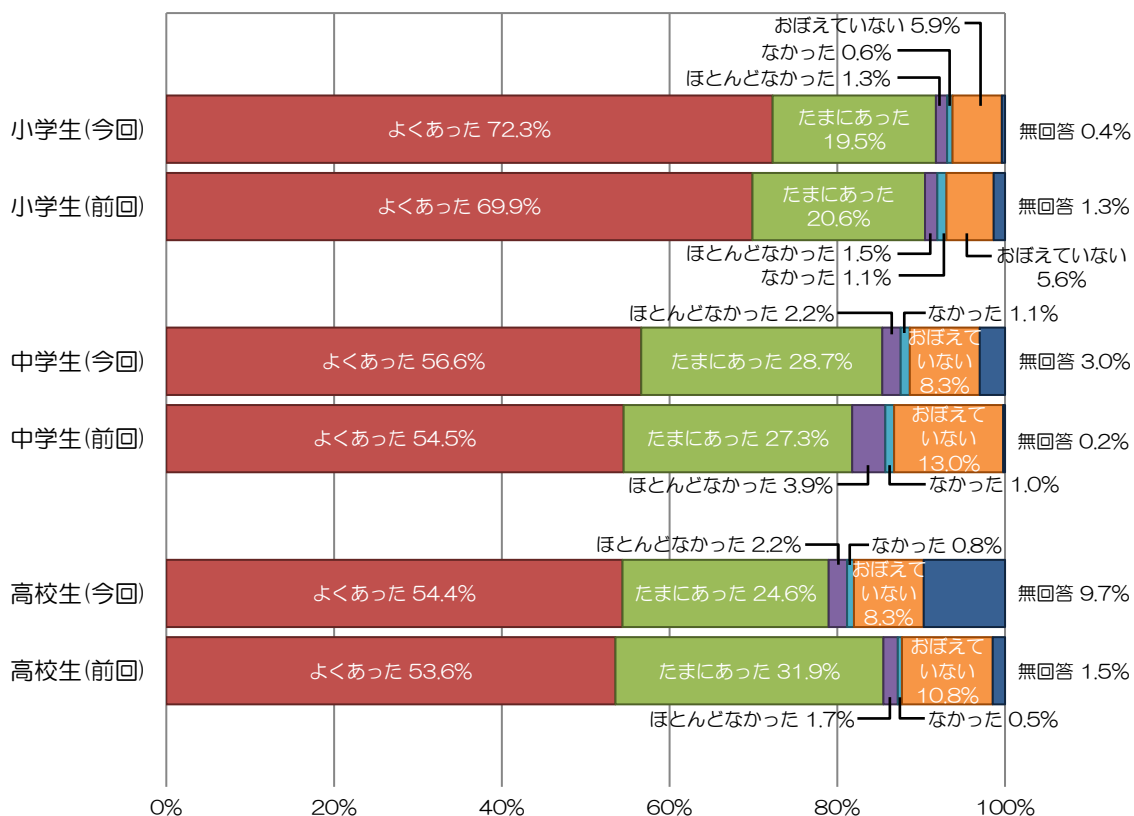


⑥ あなたは、小さいころ（小学校に入学する前）、家の人や幼稚園・保育園の先生などに本を読んでもらいましたか。（1つ選択）

「よくあった」「たまにあった」を合わせた割合は、小学生（91.8%）、中学生（85.3%）、高校生（79.0%）となっており、7割から9割の児童生徒が小さいころ（小学校に入学する前）に本を読んでもらった経験を持っていることがわかる。

（有効回答数 小学生：1,566 中学生：731 高校生：1,094）（単位：人）

選択項目	小学生	中学生	高校生
よくあった	1,132	414	595
たまにあった	305	210	269
ほとんどなかった	21	16	24
なかった	10	8	9
おぼえていない	92	61	91
無回答	6	22	106



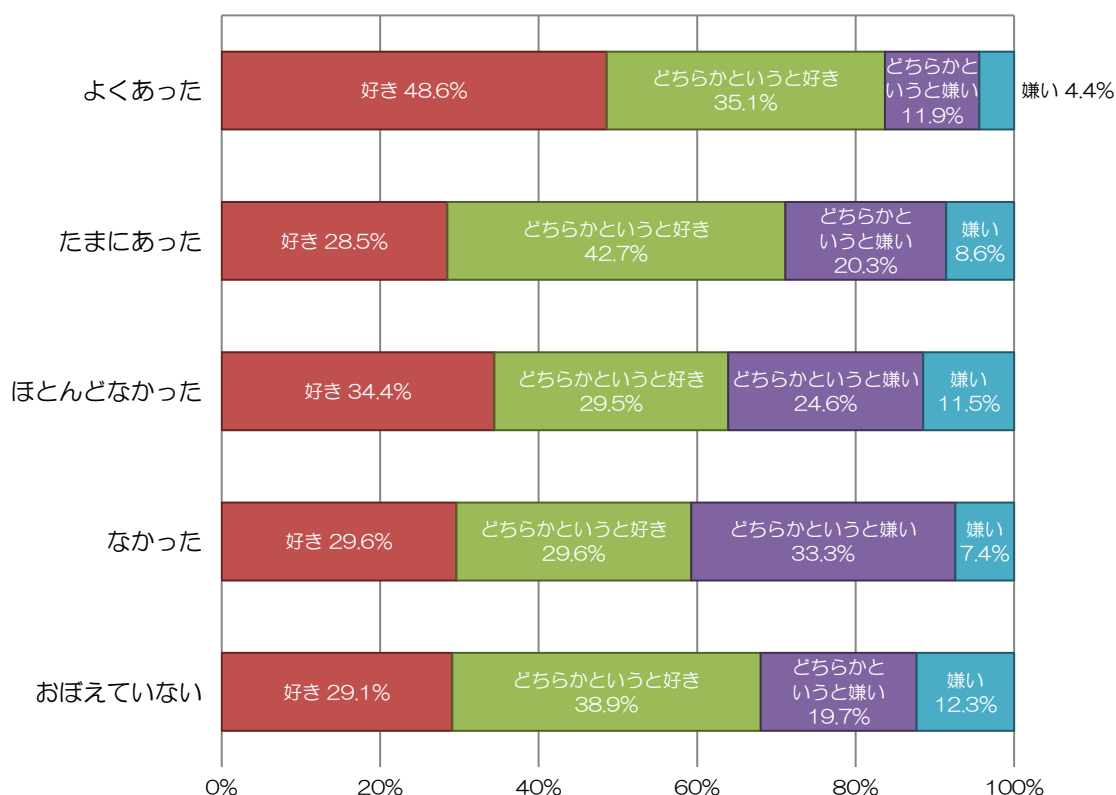
小さいころ（小学校に入学する前）に本を読んでもらった頻度（設問⑥）と読書が好きな割合（設問①）を比較すると、小さいころ（小学校に入学する前）に本を読んでもらった経験が「よくあった」と答えた人は、読書を「好き」の割合が48.6%であるのに対し、「なかった」と答えた人は、29.6%と低くなっている。

小さいころ（小学校に入学する前）に読み聞かせをしてもらった経験が、読書好きに繋がっていることがわかる。

（回答数は、無回答を除いた小学生・中学生・高校生の合計） （単位：人）

選択項目	好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い	計
よくあった	1040	751	255	94	2140
たまにあった	223	334	159	67	783
ほとんどなかった	21	18	15	7	61
なかった	8	8	9	2	27
おぼえていない	71	95	48	30	244

小さいころ（小学校に入学する前）に本を読んでもらった頻度と読書が好きな子供の割合

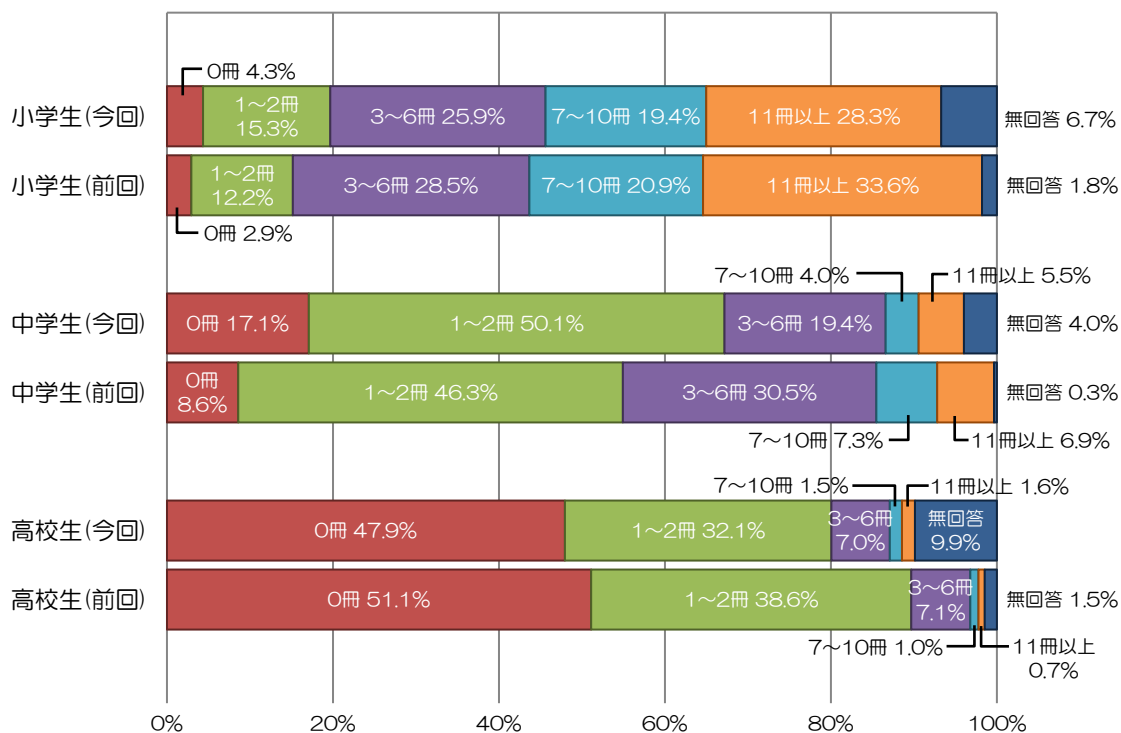


7 あなたは、最近1か月間に何冊本を読みましたか。(娯楽マンガや雑誌は除きます。)(1つ選択)

最近1か月に読んだ冊数が「0冊」の割合は、小学生(4.3%)と低くなっているが、中学生は17.1%と前回に比べ倍近くに増えていた。高校生は47.9%で、小・中学生に比べて本を読まない割合が高くなっていることがわかった。また前回と比較すると「0冊」の割合は、小学生・中学生は増加し、高校生は減少している。

(有効回答数 小学生：1,565 中学生：731 高校生：1,093)(単位：人)

選択項目	小学生	中学生	高校生
0冊	68	125	524
1~2冊	240	366	351
3~6冊	406	142	77
7~10冊	303	29	16
11冊以上	443	40	17
無回答	105	29	108



7-2 (7で「0冊」と答えた人に) 読まなかった理由は何ですか。(1つ選択)

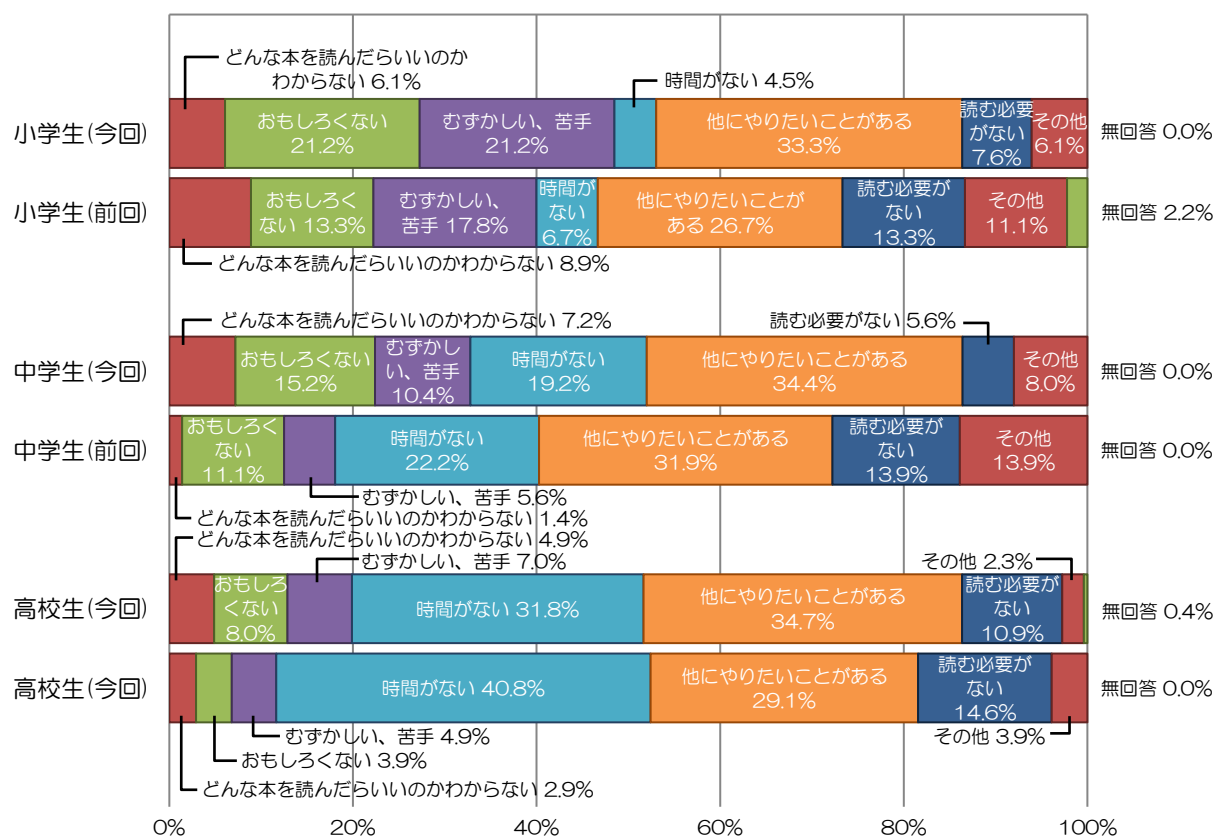
最近1か月に本を読まなかった人にその理由を聞いたところ、「他にやりたいことがあるから」の割合が小学生(33.3%)、中学生(34.4%)、高校生(34.7%)と最も高くなっている。また、小学生・中学生・高校生ともに「おもしろくないから」、「むずかしいから、苦手だから」の割合が前回に比べ高くなっている。

本への関心の低下と日々の過ごし方の多様化が、時間の使い方として読書が選択されていないことがわかる。

(有効回答数 小学生：66 中学生：125 高校生：513)

(単位：人)

選択項目	小学生	中学生	高校生
どんな本を読んだらいいのかわからないから	4	9	25
おもしろくないから	14	19	41
むずかしいから、苦手だから	14	13	36
時間がかかるから、時間がないから	3	24	163
他にやりたいことがあるから	22	43	178
読む必要がないから	5	7	56
その他	4	10	12
無回答	0	0	2



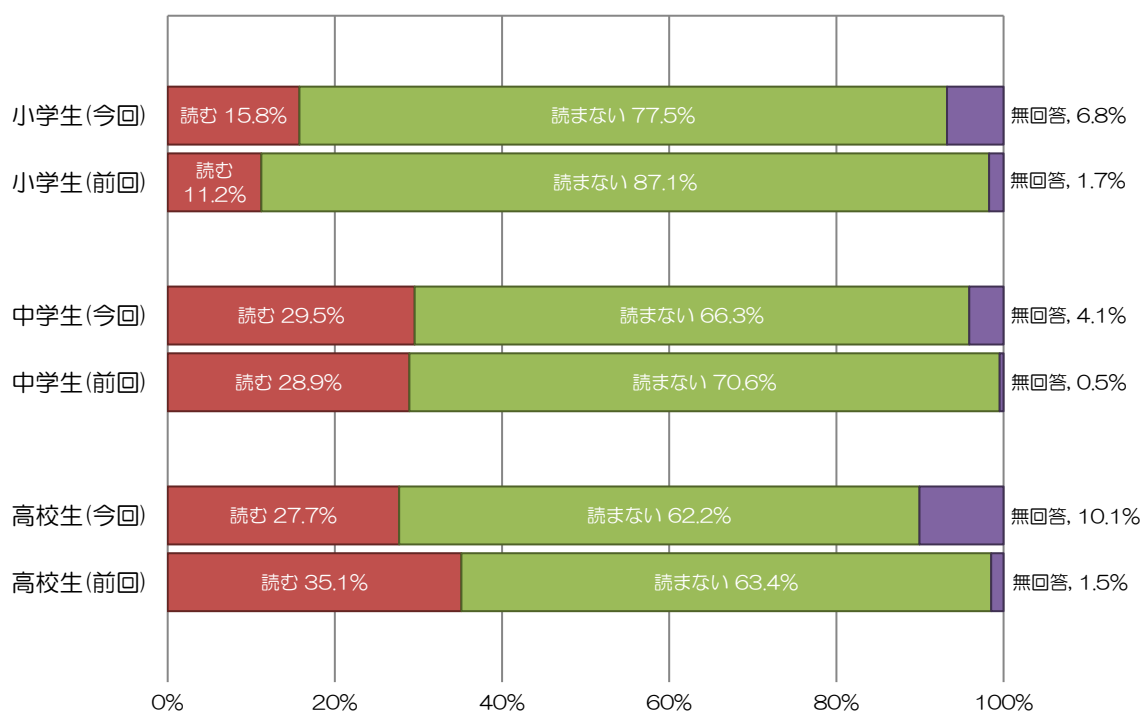
8 あなたは、スマートフォンや携帯電話等で本を読みますか。（1つ選択）

電子媒体を利用して本を読む割合は、小学生（15.8%）、中学生（29.5%）、高校生（27.7%）となっており、小学生で「読む」と回答した割合は前回と比べ4.6%増加している。

船橋市GIGAスクール構想で1人1台端末（小学生 iPad・中学生 Chromebook）を導入したことにより、電子端末の使用に慣れたことが影響していると考えられる。

（有効回答数 小学生：1,566 中学生：731 高校生：1,094）（単位：人）

選択項目	小学生	中学生	高校生
読む	247	216	303
読まない	1,213	485	681
無回答	106	30	110



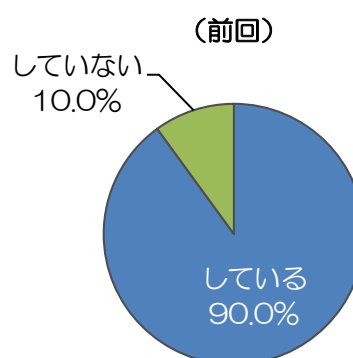
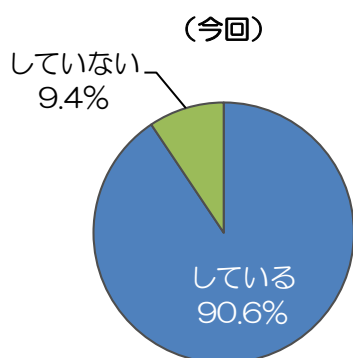
家庭での読書に関するアンケート結果 (未就学児の保護者対象)

- ① どなたか家で、お子さんに絵本などの読み聞かせをしていますか。
(1つ選択)

家で子供に読み聞かせをしている割合は90.6%と、前回の90.0%と比べてもほぼ同じ割合となっており、ほとんどの家庭で読み聞かせが行われている。

(有効回答数：330) (単位：人)

選択項目	件数
している	299
していない	31



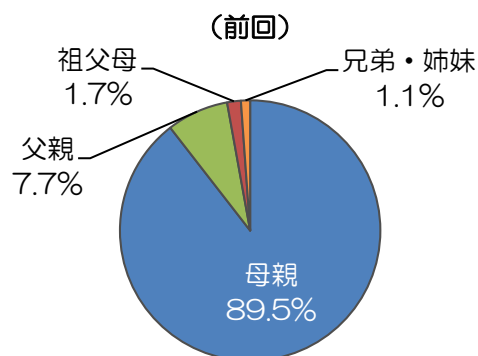
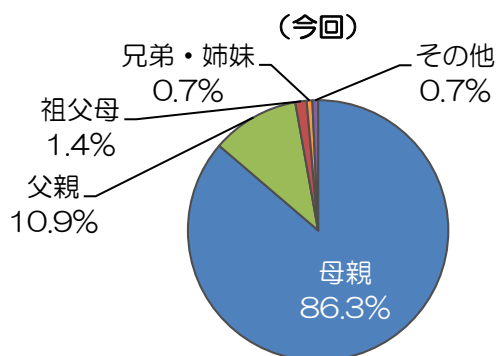
- ② (①で「している」と答えた人に)

読み聞かせはお子さんから見て、主にどなたがしますか。(1つ選択)

読み聞かせをしていると答えた人に、主にどなたが読み聞かせをしているかを聞いたところ、母親が86.3%と最も高くなっている。また父親の割合が前回と比べ3.2%増加している。

(有効回答数：284) (単位：人)

選択項目	件数
母親	245
父親	31
祖父母	4
兄弟・姉妹	2
その他	2



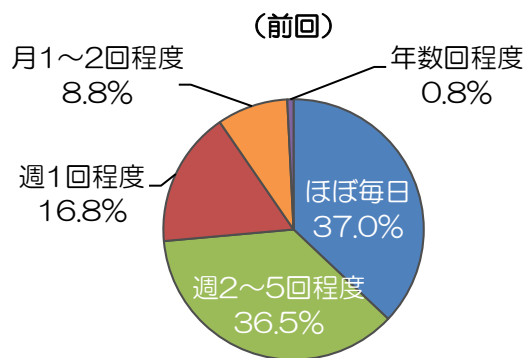
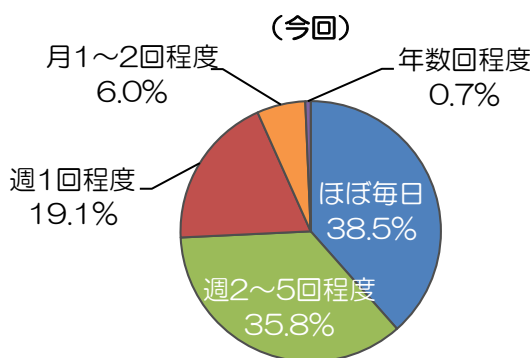
③ (①で「している」と答えた人に)

読み聞かせはどのくらいの頻度でしていますか。(1つ選択)

読み聞かせをしていると答えた人に、どのくらいの頻度で読み聞かせをしているかを聞いたところ、「ほぼ毎日(38.5%)」「週に2~5回程度(35.8%)」を合わせた割合は74.3%となっている。多くの家庭で読み聞かせを週に複数回実施しており、読み聞かせが習慣化していることがわかる。

(有効回答数：299) (単位：人)

選択項目	件数
ほぼ毎日	115
週2~5回程度	107
週1回程度	57
月1~2回程度	18
年数回程度	2



④ (①で「している」と答えた人に)

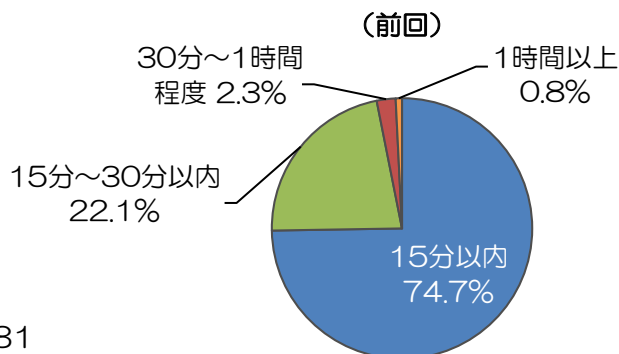
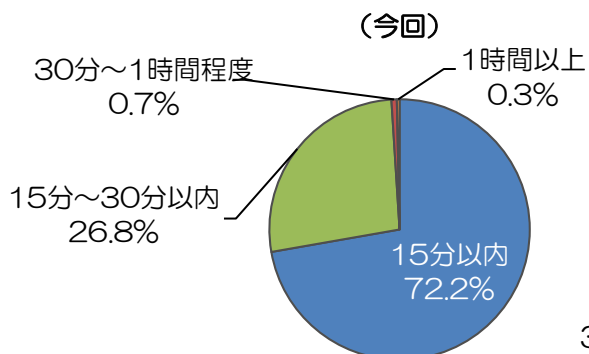
1回の読み聞かせの平均時間はどのくらいですか。(1つ選択)

読み聞かせをしていると答えた人に、どのくらいの時間で読み聞かせしているかを聞いたところ、「15分以内」と答えた人が72.2%と最も高くなっている。

15分以内で、読み聞かせを実施している状況がわかる。

(有効回答数：299) (単位：人)

選択項目	件数
15分以内	216
15分~30分以内	80
30分~1時間程度	2
1時間以上	1



⑤ (①で「している」と答えた人に)

どのようなきっかけで読み聞かせを始めましたか。(2つまで選択)

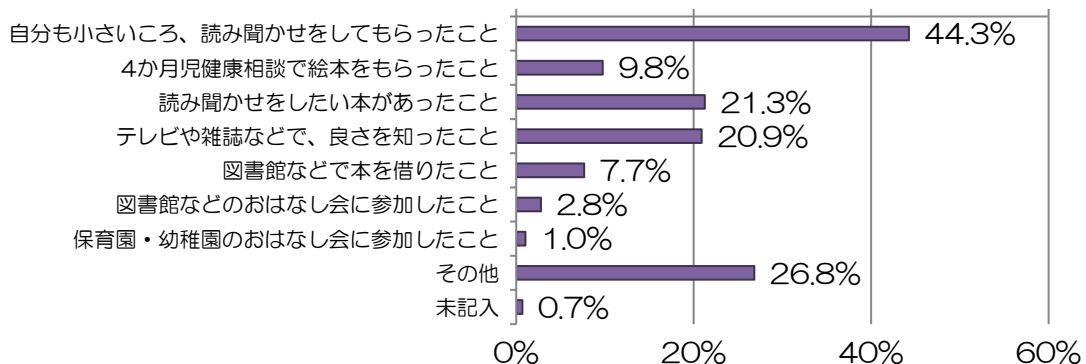
読み聞かせをしていると答えた人に、どのようなきっかけで読み聞かせを始めたかを聞いたところ、「自分も小さいころ、読み聞かせをしてもらったこと(44.3%)」の割合が高くなっている。また「市の4か月児健康相談で絵本をもらったこと」の割合は前回の30.9%と比べ21.1%減少している。保護者自身が子供のころに読み聞かせをしてもらった経験が、その子供へと受け継がれていることから、保護者への読み聞かせの推奨が世代を超えた子供の読書の推進に繋がると考えられる。また、コロナ禍で集団での4か月児健康相談が中止となったことが「市の4か月児健康相談で絵本をもらったこと」の割合に影響していると考えられる。

(単位：件)

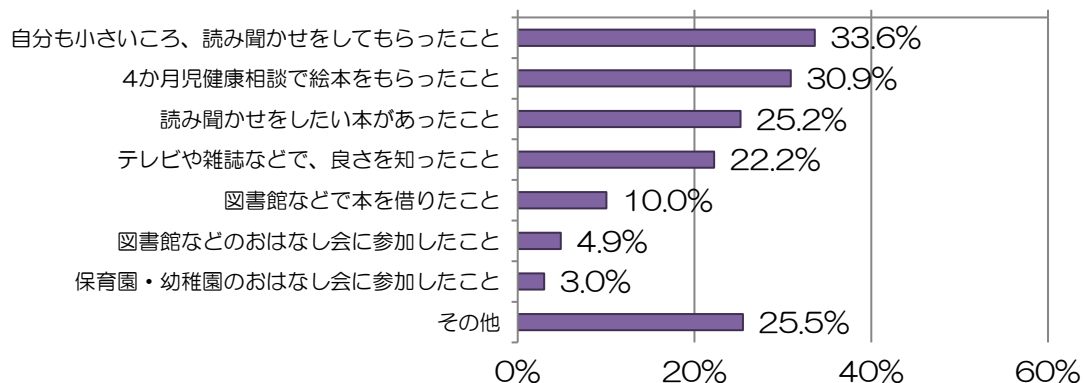
(有効回答数：287)

選択項目	件数
自分も小さいころ、読み聞かせをしてもらったこと	127
市の4か月児健康相談で絵本をもらったこと	28
読み聞かせをしたい本があったこと	61
テレビや雑誌などで、読み聞かせの良さについて知ったこと	60
図書館や公民館の図書室などで本を借りたこと	22
図書館や公民館の図書室、児童ホームなどのおはなし会に参加したこと	8
保育園・幼稚園のおはなし会に参加したこと	3
その他	77

(今回)



(前回)



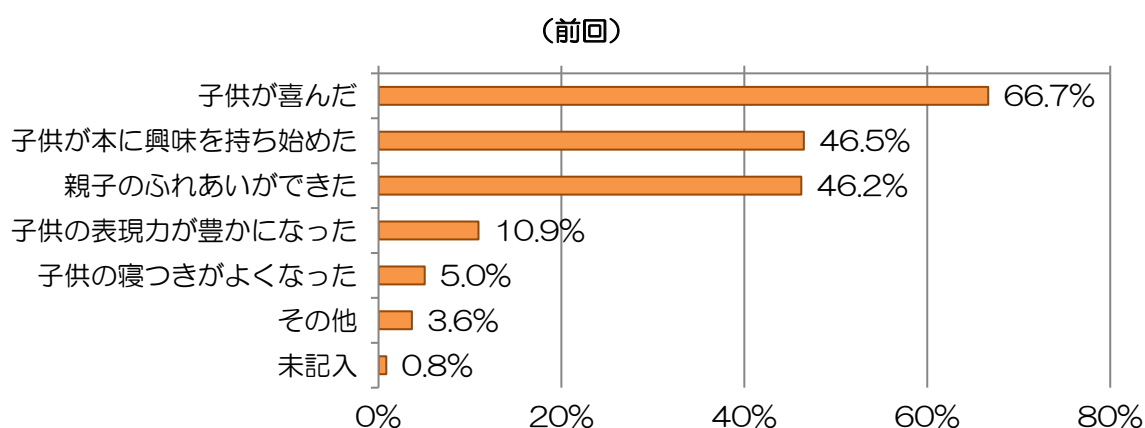
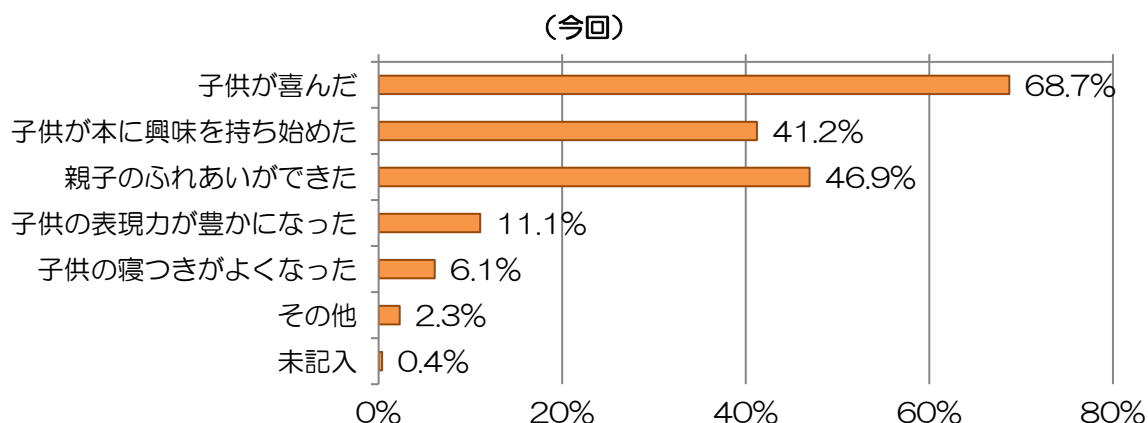
⑥ (①で「している」と答えた人に)

お子さんに読み聞かせをして、どのようなことがありましたか。(2つまで選択)

読み聞かせをしていると答えた人に、読み聞かせをしてどのようなことがあったか聞いたところ、「子供が喜んだ(68.7%)」「親子のふれあいができた(46.9%)」「子供が本に興味を持ち始めた(41.2%)」の順に回答が多かった。

選択項目	件数
子供が喜んだ	180
子供が本に興味を持ち始めた	108
親子のふれあいができた	123
子供の表現力が豊かになった	29
子供の寝つきがよくなった	16
その他	6
未記入	1

(有効回答数：262)
(単位：件)



7 (1)で「していない」と答えた人に)

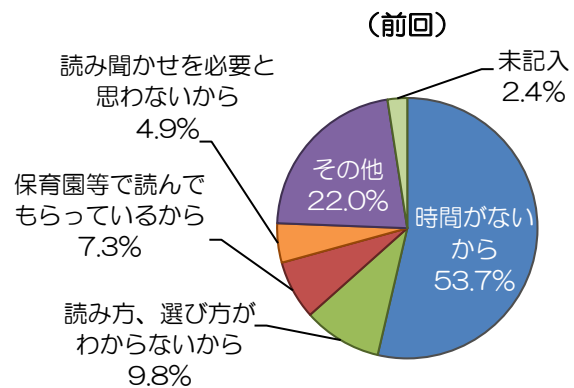
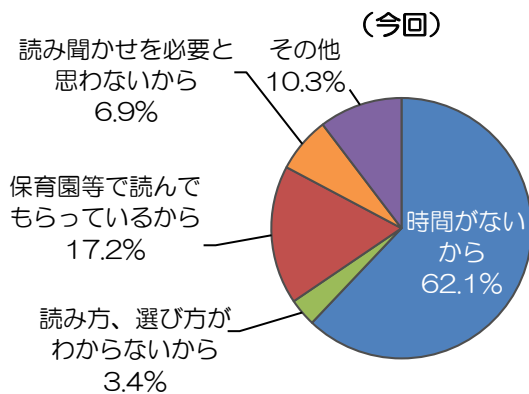
その理由は何ですか。(1つ選択)

読み聞かせをしていないと答えた人に、その理由を聞いたところ、「時間がないから(62.1%)」の割合が一番高くなっている。また「読み方、選び方がわからないから」の割合は前回の9.8%から6.4%減少している。

読み聞かせを実施していない家庭では、保護者の時間的余裕がないという理由で読み聞かせを実施できていない場合が多いことがわかる。

(有効回答数：29) (単位：人)

選択項目	件数
時間がないから	18
読み方、選び方がわからないから	1
保育園や幼稚園、図書館等で読んでもらっているから	5
読み聞かせを必要と思わないから	2
その他	3
未記入	0



8 あなたはお子さんに、どのように本を用意していますか。(1つ選択)

「買う(48.1%)」「家にある本を読む(22.6%)」の割合が高くなっている。「市の図書館、公民館等の図書室から借りる(19.5%)」は2割弱となっている。

(有効回答数：297) (単位：人)

選択項目	件数
買う	143
家にある本を読む	67
市の図書館、公民館等の 図書室から借りる	58
園文庫や地域の文庫 などから借りる	9
知り合いから借りる	0
その他	14
未記入	6

